

反転変換

【類題】

xy 平面上の円 $x^2+y^2=1$ へ、この円の外部の点 $P(a, b)$ から 2 本の接線を引き、その接点を A, B とし、線分 AB の中点を Q とする。

- 点 Q の座標を a, b を用いて表せ。
- 点 P が円 $(x-3)^2+y^2=1$ の上を動くとき、点 Q の軌跡を求めよ。
< '01 北海道大 >

【略解】

- 例題 ('07 名古屋大) と同じなので、省略。 $Q\left(\frac{a}{a^2+b^2}, \frac{b}{a^2+b^2}\right)$
- この P, Q は $OP \cdot OQ = 1$ を満たすので (証明法は例題同様)

点 $Q(X, Y)$ としたとき、
$$\begin{cases} a = \frac{X}{X^2+Y^2} \\ b = \frac{Y}{X^2+Y^2} \end{cases}$$
 を満たす

点 $P(a, b)$ が $(x-3)^2+y^2=1$ 上を動くとき $(a-3)^2+b^2=1$ を満たすので、

$$\left(\frac{X}{X^2+Y^2}-3\right)^2 + \left(\frac{Y}{X^2+Y^2}\right)^2 = 1 \text{ で、}$$

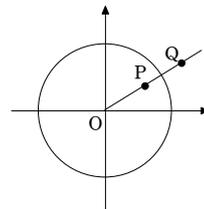
$$\left(\frac{X}{X^2+Y^2}\right)^2 + \left(\frac{Y}{X^2+Y^2}\right)^2 - \frac{6X}{X^2+Y^2} + 8 = 0$$

$$\frac{1}{X^2+Y^2} - \frac{6X}{X^2+Y^2} + 8 = 0 \text{ で、整理すれば } \left(X - \frac{3}{8}\right)^2 + Y^2 = \frac{1}{64}$$

求める軌跡は、円 $\left(x - \frac{3}{8}\right)^2 + y^2 = \frac{1}{64}$

【類題 2】

座標平面上の原点 O を中心とする半径 2 の円 C とする。 O を始点とする半直線上の二点 P, Q について、 $OP \cdot OQ = 4$ が成立するとき、 P, Q は C に関して対称であるという。



(右の図では、 P は C の内側にとってある)

- 点 $P(x, y)$ の C に関して対称な点 Q の座標を x, y を用いて表せ。
- 点 $P(x, y)$ が原点を除いた曲線

$$(x-2)^2 + (y-3)^2 = 13, (x, y) \neq (0, 0)$$

上を動くとき、 Q の軌跡を求めよ。

< '10 横浜市立大 >

【略解】

- $Q(X, Y)$ とする。

$$\vec{OQ} = k \vec{OP} \quad (k > 0) \text{ とおく。}$$

$$|\vec{OQ}| = k |\vec{OP}| \text{ の両辺に } |\vec{OP}| \text{ をかけると } 4 = k |\vec{OP}|^2 \quad (\because \text{条件})$$

$$\text{これより、} \vec{OQ} = \frac{4}{|\vec{OP}|^2} \vec{OP}$$

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix} = \frac{4}{x^2+y^2} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \text{ より、} Q \text{ の座標は } \left(\frac{4x}{x^2+y^2}, \frac{4y}{x^2+y^2}\right) \dots \text{ ㊦}$$

- $\vec{OP} = \frac{1}{k} \vec{OQ}$ より、 $|\vec{OP}| = \frac{1}{k} |\vec{OQ}|$ で両辺に $|\vec{OQ}|$ をかけると

$$\text{条件より、} 4 = \frac{1}{k} |\vec{OQ}|^2 \text{ であるため、} \vec{OP} = \frac{4}{|\vec{OQ}|^2} \vec{OQ}$$

$$\text{これより、} \begin{cases} x = \frac{4X}{X^2+Y^2} \\ y = \frac{4Y}{X^2+Y^2} \end{cases} \text{ を得て、この点 } P(x, y) \text{ が}$$

$$(x-2)^2 + (y-3)^2 = 13, (x, y) \neq (0, 0) \text{ 上を動くので}$$

$$\left(\frac{4X}{X^2+Y^2}-2\right)^2 + \left(\frac{4Y}{X^2+Y^2}-3\right)^2 = 13, (X, Y) \neq (0, 0)$$

これを展開すると

$$\frac{16X^2}{(X^2+Y^2)^2} + \frac{16Y^2}{(X^2+Y^2)^2} - \frac{16X}{X^2+Y^2} - \frac{24Y}{X^2+Y^2} = 0$$

$$\frac{16}{X^2+Y^2} - \frac{16X}{X^2+Y^2} - \frac{24Y}{X^2+Y^2} = 0$$

$$2 - 2X - 3Y = 0 \quad ((X, Y) = (0, 0) \text{ はこれを満たさない})$$

ゆえに、求める点 Q の軌跡は

$$\text{直線 } 2x + 3y - 2 = 0 \dots \text{ ㊦}$$

【類題3】

xy 平面の原点を O とする。 xy 平面上の O と異なる点 P に対し、直線 OP 上の点 Q を、次の条件 (a), (b) を満たすようにとる。

(a) $OP \cdot OQ = 4$

(b) Q は O に関して P と同じ側にある

このとき、次の問いに答えよ。

(1) 点 P が直線 $x=1$ の上を動くとき、点 Q の軌跡を求めよ。

(2) $a > r > 0$ とする。点 P が円 $(x-a)^2 + y^2 = r^2$ の上を動くとき、点 Q の軌跡が円であることを示し、その中心の座標と半径を求めよ。

< '09 大阪市立大 >

【略解】

(1) $Q(X, Y)$ とし、 $\vec{OP} = k \vec{OQ}$ ($k > 0$) とおく。

$OP \cdot OQ \neq 0$ より、 $P(x, y)$, $Q(X, Y)$ はともに原点と一致することはない。

$|\vec{OP}| = k |\vec{OQ}|$ より、両辺に $|\vec{OQ}|$ をかけると条件から $4 = k |\vec{OQ}|^2$

よって、 $\vec{OP} = \frac{4}{|\vec{OQ}|^2} \vec{OQ}$

ゆえに、点 $P(x, y)$ に対して、
$$\begin{cases} x = \frac{4X}{X^2 + Y^2} \\ y = \frac{4Y}{X^2 + Y^2} \end{cases} \dots (*)$$
 という関係式を得る。

点 P が直線 $x=1$ 上を動くとき、 $\frac{4X}{X^2 + Y^2} = 1$

これを整理すると $(X-2)^2 + Y^2 = 4$

以上から、求める Q の軌跡は

円 $(x-2)^2 + y^2 = 4$ の原点 $(0, 0)$ を除く部分 … ㊦

(2) (x, y) が $(x-a)^2 + y^2 = r^2$ 上を動くとき (*) から

$$\left(\frac{4X}{X^2 + Y^2} - a\right)^2 + \left(\frac{4Y}{X^2 + Y^2}\right)^2 = r^2$$

を満たす。

$$\frac{16X^2}{(X^2 + Y^2)^2} + \frac{16Y^2}{(X^2 + Y^2)^2} - \frac{8aX}{X^2 + Y^2} + a^2 - r^2 = 0$$

$$\frac{16}{X^2 + Y^2} - \frac{8aX}{X^2 + Y^2} + a^2 - r^2 = 0$$

$$(a^2 - r^2)(X^2 + Y^2) - 8aX + 16 = 0$$

条件より $a > r > 0$ であるため、 $a^2 - r^2 > 0$ なので

$$X^2 + Y^2 - \frac{8a}{a^2 - r^2}X + \frac{16}{a^2 - r^2} = 0$$

$$\left(X - \frac{4a}{a^2 - r^2}\right)^2 + Y^2 = \frac{16r^2}{(a^2 - r^2)^2}$$

よって、点 Q の軌跡は円であり、

中心の座標は $\left(\frac{4a}{a^2 - r^2}, 0\right)$ 、半径は $\frac{4r}{a^2 - r^2}$ … ㊦